

できる・できる・できる



校訓：「自主・友愛・飛躍」

令和6年 3月 8日
No. 63 (第191号)
長崎市立戸町中学校

文責 校長 大橋 功

<https://www.nagasaki-city.ed.jp/tomachi-j/>

公立高等学校後期選抜無事終了！

6日（水）と7日（木）の両日に実施されました公立高等学校後期選抜は、天候にも恵まれ、別室入試や新型コロナウイルス感染に伴う追試験も無く、まずは、無事に終えることができました。



入試当日は、私も長崎南高等学校に受検者への激励を兼ねて足を運びましたが、ただならぬ緊張の空気が張り詰めていると思いきや、見た目には緊張した様子もなく、いつものそれぞれの空気感でした。緊張が無いのも困りますが、緊張しすぎると自分の力を思いきり発揮できない場合があるので、私の方がホッとしたところです。

本日登校してきた生徒たちの表情を見る限り、手応え半分、不安半分といったところのようです。

気持ちを切り替えて巣立ちの準備を



さあ、3年生の次の目標は、来週14日（木）に予定されている“巣立ちの日”にむけた心の準備です。まだ、実感のわからない生徒もいるかもしれ

ませんが、義務教育最後の卒業式となります。

3年生の言葉を借りると、受験（検）が団体戦であるならば、卒業式は一人一人が主役で、有終の美を飾るにふさわしい団体演技と言えます。

入試から巣立ちに気持ちを切り替えて、中学校生活で仲間と過ごす1時間、1分、1秒を大切にしたいと思います。

頑張った級友たちを迎える

すでに進路決定して学校に残る3年生全員が、後期選抜で頑張っている生徒へのメッセージや日々の授業で活用した Chromebook の点検作業、学級の掲示物の一部撤去などを行いました。また、卒業式で歌う歌の練習を行う学級もありました。

しかし、笑顔で和やかに行いながらも、どこことなく巣立ちの時が間近にあるという寂しさも感じられました。ほんの一コマですが写真でご紹介します。



心の種

今回のテーマは「それぞれの思いを込めて・・・」です。

今日から3年生による卒業式の練習が始まりました。また、1・2年生による3年教室の飾り物等、3年生への感謝の思いを込めた準備も着々と進めてくれています。

そう言えば一年前、3年生も卒業式前日に、「あれも、これも、後、もう少し!」と忙しそうに、声をかけあいながら、先輩たちの教室を、メッセージや絵、手作りの桜の花びら等で装飾していました。きっと、当時の自分たちの姿を思い出しているのではないのでしょうか。あの時の自分たちの思いは、しっかりと後輩たちに受け継がれています。

1・2年生による教室環境等の準備、主役の3年生による巣立ちの準備と、それぞれに思いを込めてその時を迎えようとしています。